

Eat Well, Live Well.



企業連携水循環ウェビナー ～ 国際的動向を踏まえた水循環の取組～

4. 水源涵養

# 水源涵養：森林整備の取組 「ブレンディ®の森」森づくり活動

味の素 A G F 株式会社 サステナビリティ推進部  
木戸啓之

2023年2月16日



## 目次

1. 味の素AGF(株)のサステナビリティ取組
2. 「ブレンディ®の森」とは？
3. 「ブレンディ®の森」の森づくり活動

いつでも、ふう。

**AGF**®

# **1. 味の素AGF(株)のサステナビリティ取組**

コーポレートスローガン

## いつでも、ふう。AGF®

「ふう」とすると、こころにゆとりが生まれる。そのゆとりは、前を向くための大切な時間です。「ふう」があふれる社会に向けて、ココロの健康に寄与するかけがえのない企業を目指します。

**Mission**  
企業理念

コーヒーをはじめとする嗜好飲料とギフトを通して、「ココロ」と「カラダ」の健康、そして明日のよりよい生活に貢献します。

**Vision**  
ビジョン

コーヒーをはじめとする嗜好飲料とギフトを通して、「ココロ」と「カラダ」の健康、そして明日のよりよい生活に貢献します。

**ASV**  
**Ajinomoto Group**  
**Shared Value**  
社会価値と経済価値の共創

「ココロとカラダの健康」、「人と人とのつながり」、「地球環境との共生」をはじめとするサステナブルな社会の実現を目指し、あらゆるパートナーと共創することで、3R(Relax, Reset, Refresh)の提供を通じて事業活動を拡大します。



●主な商品



インスタントコーヒー



レギュラーコーヒー



スティック



ギフト

5

いつでも、ふう。  
AGF®

# 1-2) 味の素AGF(株)のサステナビリティ取組

## ココロとカラダの健康

コーヒーがもたらす嗜好飲料の力で「ココロ」と「カラダ」の健康に貢献します。

長期滞留品を活用し 災害被災地への  
フードバンクに寄付 スティックドリンクバー提供

メッセージ付き商品

## 資源循環型社会実現への貢献

独自の環境マーク「ほっとするエコ」マークを309品目に表示し、お客様に「環境にやさしい」商品であることをわかりやすくお伝えしています。  
(2022年9月末現在)

プラスチックの一部紙化による  
エコ消費の普及促進

## 持続可能な原料調達

アジア圏で初めて、コーヒー豆の持続可能な調達である4C認証ロゴマークをスティックの主力コーヒー品種42品目に表示しています。  
(2023年3月末予定)

徳之島やコーヒー生産国（ブラジル・コロンビア・ベトナム・インドネシア）への産地支援を実施しています。

スティック箱、ギフト化粧箱にFSC®認証紙を使用しています。

## 森林整備・水資源の保全

水を使用している企業の責任として、2014年から社員延べ3,500人以上が森林整備を行い、次世代へと継承していくことを目指しています。

脱炭素チャレンジ  
グリーンパートナー  
（「ブレンドイ@の森」鈴鹿）

## 気候変動への対応

AGF®グループは、地球温暖化防止のために、バリューチェーン全体でCO2削減に取り組んでいます。

・グリーン電力購入による再エネ活用（本社、営業所拠点）  
2022年度より、徳之島の南西糖業株式会社伊仙工場発電所を選定

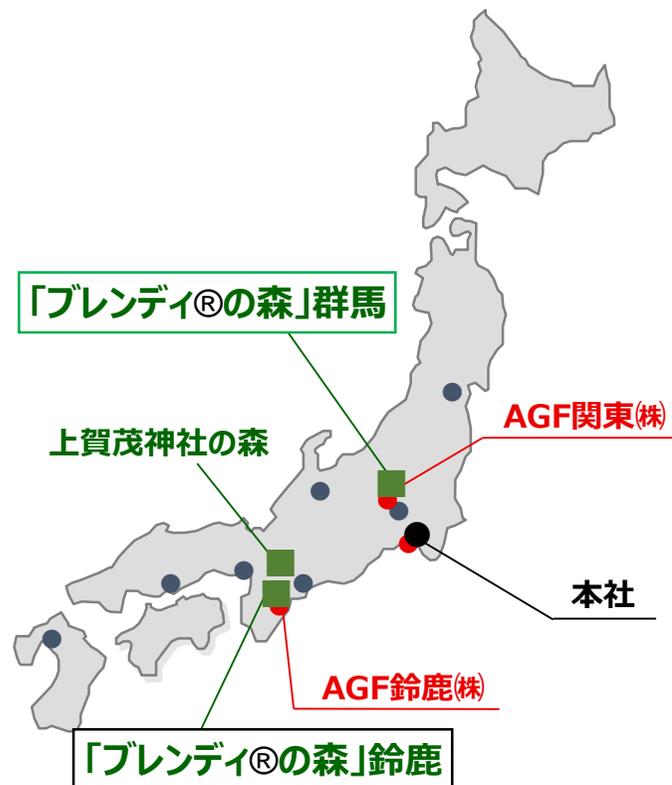
いつでも、ふう。

**AGF**®

## 2. 「ブレンディ®の森」とは？



“水”はAGFグループの商品づくりだけでなく、お客様がAGFグループの商品をお飲みいただく際にも欠かせない大切な資源です。AGFグループでは、森を整備することによって水資源の保全に取り組んでいます。



## 【森づくり活動の目的・意義】

- ① **森を整備**することにより、**水資源の保全**をする。
- ② 社員が活動を体感し、**サステナブル活動を自分ごと化する**。
- ③ 森づくり活動を活用して地域やお客様の**ファンづくり**につなげる。  
各森の**ステークホルダー**との連携を図る。

生産会社である、AGF鈴鹿(株)・AGF関東(株)で使用する水の水源である「鈴鹿川源流」と「利根川水系源流」の一角を「ブレンディ®の森」として、森づくり活動＝森を整備し水資源保全を実施。



## 「ブレンディ®の森」鈴鹿

2014年9月スタート

面積：当初2.6ha → 現在16.4ha

東京ドーム (4.7ha) 約0.6個分

約3.5個分



## 「ブレンディ®の森」群馬

2015年5月スタート

面積：当初2.6ha → 現在11.4ha

約0.6個分

約2.4個分





いつでも、ふう。

AGF®

## 2-4) 「ブレンディ®の森」鈴鹿の地下水涵養域の把握

「ブレンディ®の森」鈴鹿 と AGF鈴鹿(株)の使用水（井水）が繋がっているか？

AGF鈴鹿(株)の井戸の地下水涵養域の把握のため、水文地質解析を実施

**「ブレンディ®の森」鈴鹿で育まれた水も流れ込んでいる鈴鹿川の中流域がAGF鈴鹿(株)のかん養域となっている。**

### 基本情報の整理

地形情報の整理

地質情報の整理

AGF鈴鹿(株)及び周辺の  
井戸や地質情報の整理



### 涵養域把握のための検討

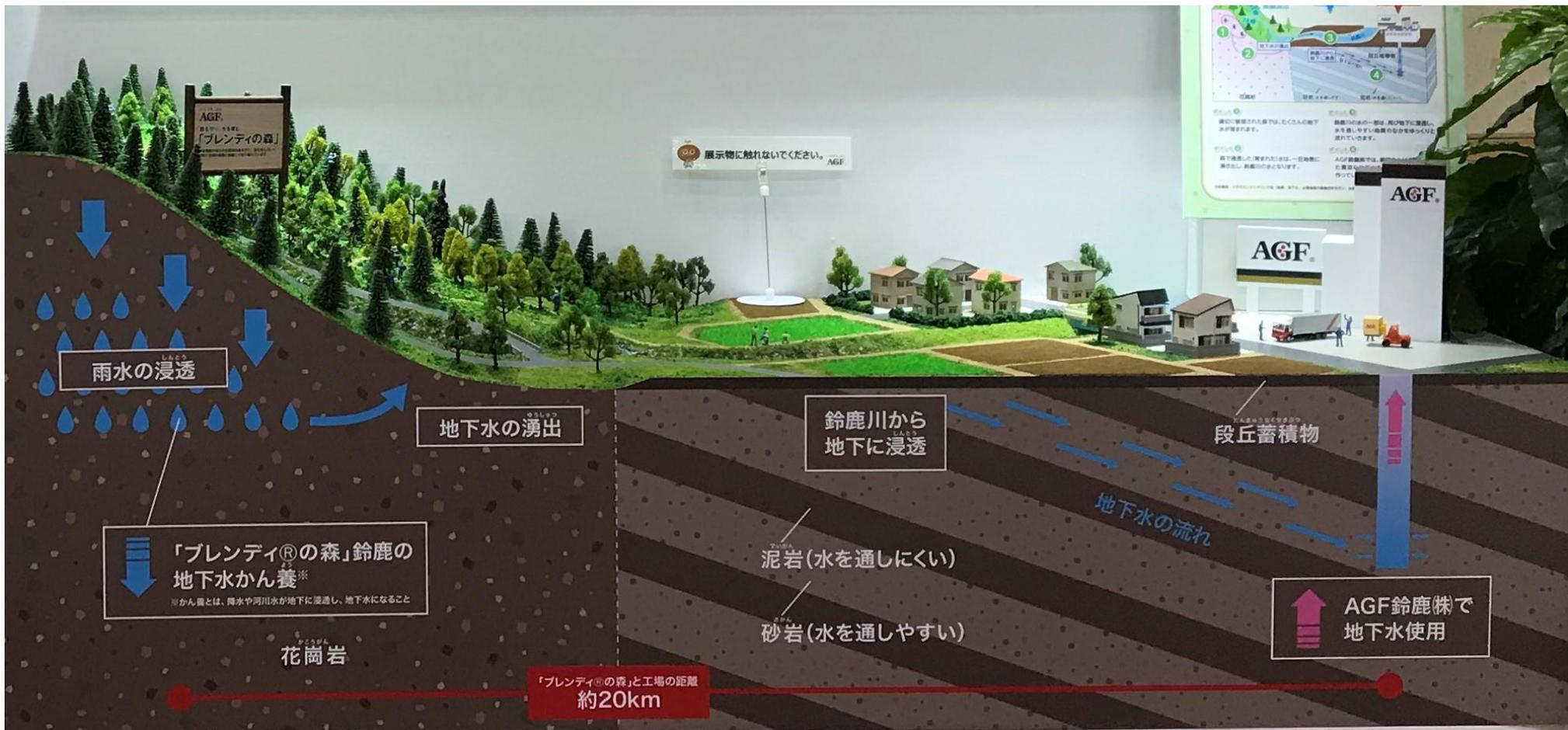
帯水層区分：  
地下水に着目し、地質を区分

地質断面図：  
工場の帯水層の広がり確認

地下水面等高線：  
地下水の流動方向の把握



「ブレンディ®の森」鈴鹿で涵養された水は一旦鈴鹿川に流出し、その後鈴鹿川中流域にて地下に浸透（涵養）している。



いつでも、ふう。

**AGF**®

### **3. 「ブレンディ®の森」の森づくり活動**

## 活動後



間伐作業



下草刈り作業



作業道の整備



獣害防護ネット設置



スギの苗木を植樹



林分調査



地面まで光の差し込むエリアに



しっかり獣害防護された木々



順調に成長を続ける植樹した木々

整備活動  
が進んで  
います！



参加者のうち、**96%**の方が**また参加したい**と回答※

## 参加者からのコメント抜粋

50年・100年後に我々が何を残せているか、を考える良い機会になった。

水を守る活動の大切さを実感し、味の素AGF社員であることに誇りを感じることができた

販売などに直結しないかもしれないが、このような活動を継続で行っていく事は会社にとっても非常に大切だと感じた

活動を続ける事の大切さと訪れる人への教育に繋がっているなど改めて感じました。現場に勝るものはなし。

普段直接かかわることのない社内の方々や関係会社の方々と一緒に活動し、コミュニケーションをとることができ有意義な時間となった

作業内容がきつく、体力のない人には厳しい。。

※ 2020～22年度の「ブレンディ®の森」森づくり活動参加者からのアンケートデータより

流通・お客様

群馬 2019年7月

地域のスーパーとの共同企画、お客様をお呼びして、群馬の森自然散策とAGF関東工場見学を開催。



群馬 2020年9月

「ブレンディ®の森」群馬のスギ造林地が、群馬県造林品評会『最優秀賞』と、全国農林水産祭にて『農林水産大臣賞』を受賞。



群馬テレビで放送

鈴鹿 2019年5月&12月

地域

地域の皆様との交流会開催、地元地域でのAGFファンづくりに繋げる。



「ブレンディ®の森」森林散策体験会を開催。



森所有者他の皆さんが、整備され再生しつつある森に感謝、感動される。

受賞対象地：スギ造林地



植樹したスギが、5年間で、人の背丈を超える程に大きく成長しました。



- 林野庁が2022年に創設した新しい審査、顕彰制度。
- カーボンニュートラルの実現に貢献する森林整備を支援する民間企業や団体等のCO2吸収量を審査し、グリーンパートナーとして、吸収量実績とともに公表するもの。



## 【公開内容】

令和2年および令和3年の間に整備した森林※1（1.8ha）のCO<sub>2</sub>吸収量  
⇒ 6t-CO<sub>2</sub>/年間※2

※1 今回公表されたCO<sub>2</sub>吸収量は、令和2年から3年にかけて間伐を行ったエリア(1.8ha)について算定したもので、「ブレンディ®の森」鈴鹿全体(16.38ha)の約1割。

※2 吸収量の算定方法

A 「森林による二酸化炭素吸収量の算定方法について」（令和3年12月27日付3林政企第60号林野庁長官通知）に基づく算定方法

a 1年間に森林が吸収するCO<sub>2</sub>量の簡便な算定方法

ア 簡易な方法（直近の森林簿の樹種、齢級と面積から算出する方法）

いつでも、ふう。

AGF®

## 謝辞

## ◆ 「ブレンディ®の森」鈴鹿

- 「ブレンディ®の森」鈴鹿の地権者の皆様
- NPO法人森林の風 の皆様
- 鈴鹿馬子唄会館／坂下地区まちづくり協議会の皆様
- 三重県四日市農林事務所の皆様

## • 八千代エンジニアリング(株)

- 三重大学大学院 生物資源学研究科 葛葉泰久 教授 (当時)  
松尾奈緒子 講師 (当時)

三重大学 教育学部 宮岡邦任 教授

## ◆ 「ブレンディ®の森」群馬

- 「ブレンディ®の森」群馬の地権者の皆様
- 赤城南麓森林組合の皆様
- NPO法人 ぐんま緑のインタープリター協会の皆様
- 群馬県北群馬渋川振興局 渋川森林事務所の皆様
- 三夜沢赤城神社





Thank you.